

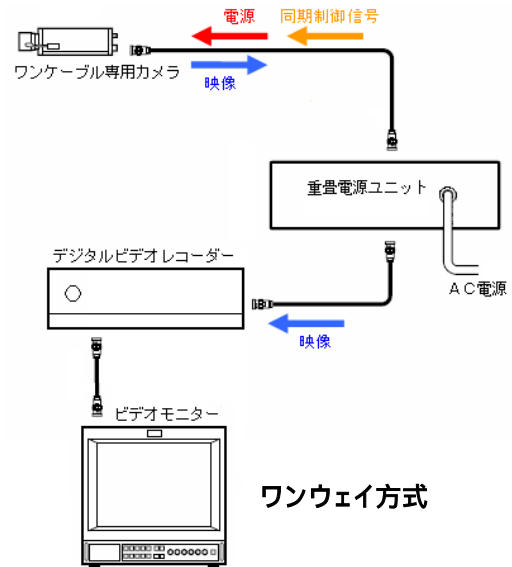
ワンウェイ方式(ワンケーブル方式)

もともとパナソニックが提案した方式で、日本でのみ発達しました。

同軸ケーブル上に重畳電流を流して、一本の同軸ケーブルだけで、映像信号、電源、同期制御信号を相互にやり取りが可能となる方式です。

カメラの近くに100Vの電源を用意する必要がなくなり、施工しやすくなります。

しかし、重畳させる方式が各社まちまちで、カメラのみを他社のものに入れ替えること(互換性)ができません。もともとはパナソニックの一流の囲い込みだったのかもしれませんが。しかもコントロールユニットが高価で、また、インバーター、モーターなどが近くにあると、どうしてもノイズを拾ってしまいます。



ワンウェイ方式

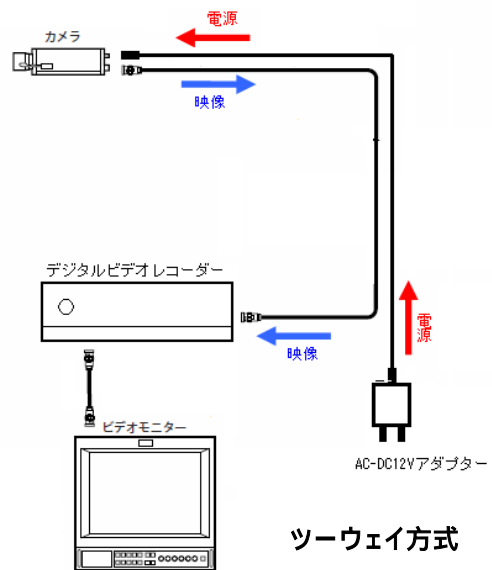
ツーウェイ方式(ツーケーブル方式)

これに対して、最近では弱電(12V)の電源線を同時に引く安定したツーウェイ方式が復活してきており、100mくらいなら充分減衰しないで機能します。また、近くの電源からも供給でき、カメラはどのメーカーでも互換性があります。

もちろん高価なユニットは必要なく、ノイズも拾うことはありません。

弊社のカメラはすべてこのツーウェイ方式です。

ただ、すでに同軸ケーブルだけが通っている場合や、どうしても1本だけで通したい場合は、弊社のワンケーブルシステム(VDS、NS-CPM400、NS-CCU204)をカメラと映像機器の間に同軸ケーブルを介して設置すれば可能です。



ツーウェイ方式

